

報道関係各位

平成27年12月9日

東京医科歯科大学

12月12日(土)東京医科歯科大学にて、これからの 臨床研究に貢献する日本初の会合が開催されます！

東京医科歯科大学生命倫理研究センターは、近年の生命科学の進歩に対する倫理基準、その社会的合意形成過程についての学際的研究を行い、特に臨床現場における生命倫理と医の倫理の間に生じている乖離についての多角的視野からの研究を展開しています。昨今の臨床研究を巡る問題の解決にはこの領域に関わる全てのステークホルダーの情報共有が不可欠と思ひ「研究倫理を語る会」を開催するに至りました。是非この趣旨をご理解いただき広く社会に発信する為の仕組みにご協力いただきたくお願い申し上げます。

【第1回「研究倫理を語る会」開催概要】

プログラム： 特別講演「これからの研究機関ガバナンス～研究機関の長に求められること～」

講師 末松 誠(日本医療研究開発機構理事長)

楠岡 英雄(国立病院機構大阪医療センター 病院長)

座長 位田 隆一(同志社大学特別客員教授)

海外招聘者講演 “Ethical Review in the United Kingdom”

講師 Andrew George, Ph.D.

(Brunel univ., NREAP: The National Research Ethics Advisors’ Panel)

海外招聘者講演 ”Making Ethical Scientific Progress:

The Role of Human Research Protection Programs in the United States”

講師 Jeremy Sugarman, MD, MPH

(Johns Hopkins univ., PRIM&R: Public Responsibility in Medicine and Research)

座長 吉田 雅幸(東京医科歯科大学生命倫理研究センター長)

武藤 香織(東京大学医科学研究所公共政策研究分野 教授)

開催日： 平成27年12月12日(土)9時00分から18時00分 (要参加予約)

会場 所： 東京医科歯科大学 M&Dタワー2階 鈴木章夫記念講堂(第1会場)

同フロア 共用講義室1&2(第2&3会場), ホワイエ(ポスター会場&企業展示)

対象者：研究者・医療者・研究支援者・機関の長・倫理審査委員／事務局・CRC・研究参加者・企業等

※ 逐次通訳あり

【開催趣旨】

「研究倫理を語る会」の目的は、臨床研究を支える様々なステークホルダー(研究者・医療者・研究支援者・機関の長・倫理審査委員／事務局・CRC・研究参加者・企業等)が一堂に会し、多方面からの討論ができる時間をつくること、そして、臨床研究支援・研究倫理支援に携わる方々の情報共有・意見交換の場を設けることです。本会を通じて、研究倫理に関連する様々な学協会が緩やかな連携を目指した協議会が発足し、研究倫理に関わる人材の育成や生涯研修の場になれば幸いです。

【講師プロフィール】

末松 誠(日本医療研究開発機構理事長)

1983年、慶應義塾大学医学部卒業。その後、慶應義塾大学医学部助手(内科学教室)を経て、中央臨床検査部内視鏡部門へと移る。同大学医学部内科学教室に帰室後、カリフォルニア大学サンディエゴ校応用生体工学部に留学。帰国後、慶應義塾大学医学部助教授(医化学教室)、後に教授に就任。

2007年、慶應義塾大学ヒト代謝システム生物学研究センター所長、慶應義塾大学医学部長就任。

2015年に現職である独立行政法人日本医療研究開発機構初代理事長に就任。

楠岡 英雄(国立病院機構大阪医療センター 病院長)

1975年3月、大阪大学医学部卒業。その後、大阪大学工学部助手、同医学部助手、ジョンズ・ホプキンス大学医学部助教授、大阪大学医学部助教授、国立大阪病院臨床研究部長、同副院長を経て、2007年4月より現職。専門は、循環器内科学、医療情報学、生体医工学。

1999年4月より6年間、国立大阪病院治験管理センター長を併任。コンソーシアム関西理事。

Andrew George, Ph.D. (Brunel univ., NREAP: The National Research Ethics Advisors' Panel)

英国ケンブリッジ大学で修士号を取得後、サウザンプトン大学テノバス研究所でB細胞リンパ腫のワクチン開発研究にてPh.D.取得。その後米国NIHで新規抗体産生技術の研究に従事。英国に戻り、英国王立医学大学院ハマスミス病院講師、英国インペリアル・カレッジ・ロンドン分子免疫学分野教授、同大学大学院長を務めた後、2013年10月より英国ブルネル大学副学長(教育・国際)に就任。

専門の免疫系の研究のほか、臨床研究に関わる倫理や政策にも造詣が深く、英国National Research Ethics Advisors' Panelの座長、英国医薬品・医療製品規制庁(MHRA)医薬品委員会の治験、生物学的製剤およびワクチン専門家諮問グループの構成員を務めている。

Jeremy Sugarman, MD, MPH (Johns Hopkins univ., PRIM&R: Public Responsibility in Medicine and Research)

米国デューク大学で修士号を取得後、同大学で医学博士MD、ジョンズ・ホプキンス大学公衆衛生大学院にて公衆衛生学修士MPH、ジョージタウン大学にて学術修士MAを取得。現在、ジョンズ・ホプキンス大学生命倫理・医学分野教授、および同大学バーマン生命倫理研究所の副所長を務める。

生命倫理の専門家として国際的に知られており、インフォームドコンセントにおける倫理、臍帯血バンク、幹細胞研究、国際HIV予防研究、グローバルヘルスおよび研究管理など医学倫理・政策において業績を多数挙げている。医学倫理の領域で現在次の役職を務めている。デューク大学生命倫理・人文科学・医学史トレントセンター創設理事、国際幹細胞研究協会の倫理・公共政策委員、PRIM&R(Public Responsibility in Medicine and Research)理事、ジョンズ・ホプキンス大学幹細胞研究管理委員会委員長、HIV予防治験ネットワークの倫理WG座長、蘇生転帰コンソーシアムの倫理責任者。

【協賛】 ICR 臨床研究入門、医学系大学倫理委員会連絡会議、株式会社ビッグバン、CITI Japan プロジェクト、日本医師会、日本医療機器産業連合会、日本製薬工業協会、日本臨床試験学会

【後援】 厚生労働省、全国医学部長病院長会議、日本医学会連合、日本医療研究開発機構、文部科学省、PRIM&R(Public Responsibility in Medicine and Research)

【セミナー詳細・参加申し込みに関する問い合わせ先】

東京医科歯科大学生命倫理研究センター

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL: 03(5803)4085 / FAX: 03(5803)4725

E-mail: info.bec@tmd.ac.jp

URL: <http://www.tmd.ac.jp/bioethics/index.html>

【本プレス通知に関する問い合わせ先】

国立大学法人東京医科歯科大学広報部広報課企画係 佐藤、深堀

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL: 03(5803)5011 / FAX: 03(5803)0272

E-mail: kouhou.adm@tmd.ac.jp

第1回

研究倫理を語る会

2015年

12月12日 土 9:00-18:00

東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂 (東京都文京区湯島1-5-45)

定員：500名、事前登録制、参加費無料、懇親会費：3,000円

「研究倫理を語る会」の目的は、臨床研究を支える様々なステークホルダー（研究者・医療者・研究支援者・機関の長・倫理審査委員/事務局・CRC・研究参加者・企業等）が一堂に会し、多方面からの討論ができる時間をつくること、そして、臨床研究支援・研究倫理支援に携わる方々の情報共有・意見交換の場を設けることです。本会を通じて、研究倫理に関連する様々な学協会が緩やかな連携を目指した協議会が発足し、研究倫理に関わる人材の育成や生涯研修の場になれば幸いです。

特別講演

これからの研究機関ガバナンス

～研究機関の長に求められること～

講師：末松 誠 (日本医療研究開発機構 理事長)
楠岡 英雄 (国立病院機構大阪医療センター 病院長)
座長：位田 隆一 (同志社大学 特別客員教授)



海外招聘者講演

Ethical Review in the United Kingdom

講師：Andrew George, Ph.D. (Brunel Univ., NREAP: The National Research Ethics Advisors' Panel)

Making Ethical Scientific Progress:

The Role of Human Research Protection Programs in the United States

講師：Jeremy Sugarman, MD, MPH. (Johns Hopkins Univ., PRIM&R: Public Responsibility in Medicine and Research)

座長：吉田 雅幸 (東京医科歯科大学生命倫理研究センター センター長)
武藤 香織 (東京大学医科学研究所公共政策研究分野 教授)

※逐次通訳あり

1

SESSION

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針への対応状況：モニタリング・監査ははじめました

2

SESSION

動き始めた特定認定再生医療等委員会

3

SESSION

ヒトゲノム研究の倫理審査：共同研究・偶発的所見どうしたらいい？

4

SESSION

臨床研究倫理教育のこれから

5

SESSION

拡大版研究倫理支援者懇談会

6

SESSION

ディオバン事件後の利益相反への取り組みと対応

【実行委員会】

吉田雅幸 (東京医科歯科大学・代表) 武藤香織 (東京大学医科学研究所・副代表) 飯島祥彦 (名古屋大学医学部) 板井孝春 (宮崎大学医学部) 市川家國 (信州大学医学部) 勝原裕美子 (豊津浜松病院) 加藤和人 (大阪大学医学部) 笹栗俊之 (九州大学医学研究センター) 澁谷和俊 (東邦大学医学部) 田代志門 (国立がん研究センター) 森下典子 (国立病院機構大阪医療センター) 山下紀子 (国立がん研究センター)

【協賛】

医学系大学倫理委員会連絡会議、日本医師会、日本臨床試験学会、日本製薬工業協会、日本医療機器産業連合会、株式会社ビッグバン、CMI Japan プロジェクト <http://www.shinshu-u.ac.jp/project/cjp/> (事業統括 福岡義光)・ICR臨床研究入門 <http://www.icrweb.jp/> (研究代表者 山本精一郎)

【後援】

厚生労働省、文部科学省、日本医学会連合、全国医学部長病院長会議、日本医療研究開発機構、PRIM&R

↓「研究倫理を語る会」大会ホームページ↓
<http://www.tmd.ac.jp/bioethics/japrec/>

【問い合わせ先】

東京医科歯科大学 生命倫理研究センター
(担当：甲畑 高橋)

E-mail: info.bec@tmd.ac.jp

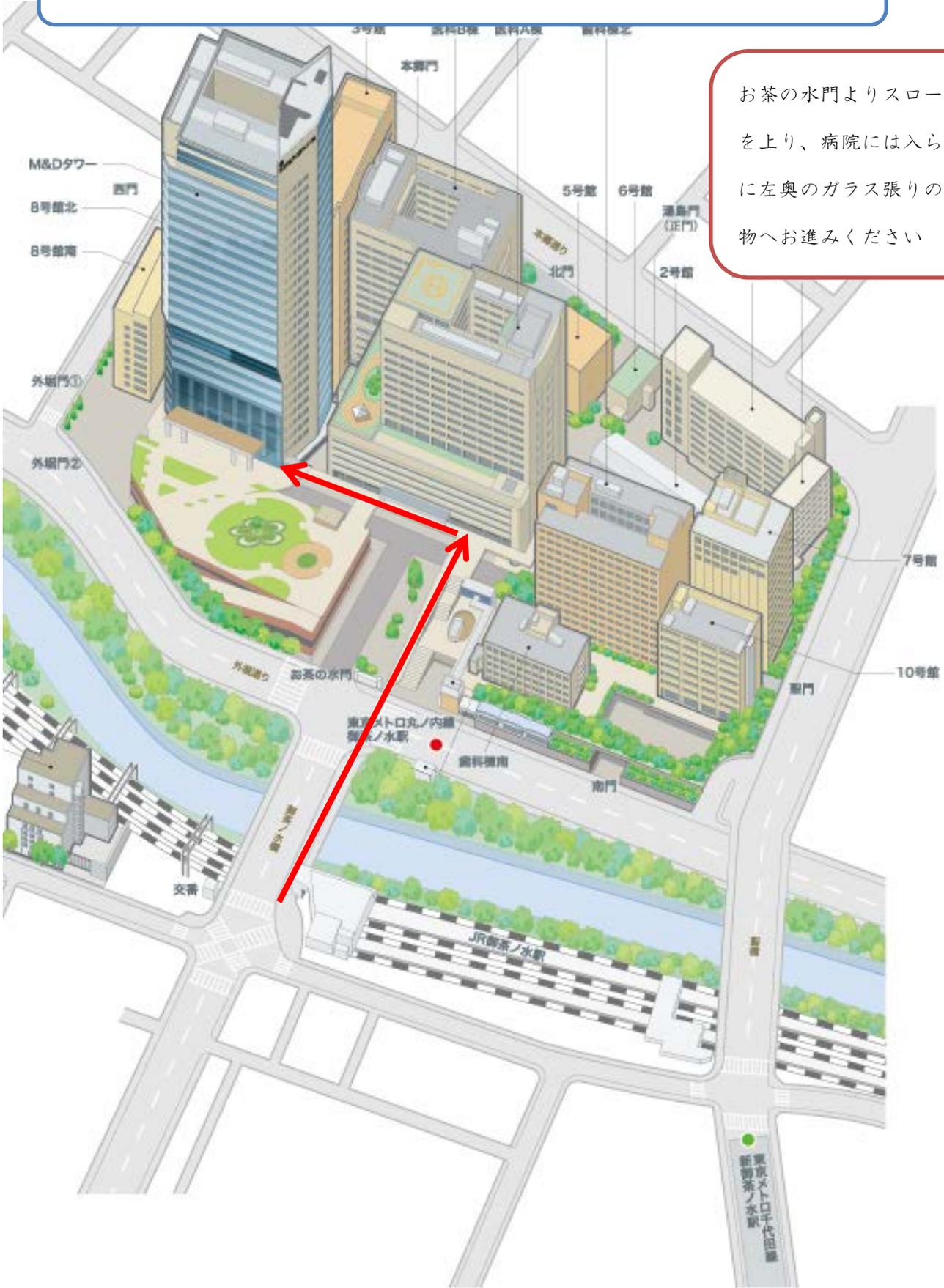
TEL: 03-5803-4085, FAX: 03-5803-4725

HP: <http://www.tmd.ac.jp/bioethics/index.html>

2015年12月12日・日程

	第1会場 鈴木章夫記念講堂	第2会場 共用講義室 1	第3会場 共用講義室 2	ポスター会場 企業展示 ホワイエ
8:00				
9:00	開会式 (9:00~9:10)			ポスター掲示 (8:30~9:00)
10:00	セッション1 9:15~10:35 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」への対応 状況：モニタリング・監査 はじめました 座長：山下 紀子・森下 典子	セッション2 9:15~10:35 動き始めた特定認定 再生医療等委員会 座長：田代 志門・武藤 香織	セッション3 9:15~10:35 ヒトゲノム解析研究の倫理審 査について：共同研究・偶発 的所見どうしたらいい？ 座長：加藤 和人	ポスター掲示
11:00	特別講演 10:40~12:10 これからの研究機関ガバナ ンス～機関の長に求められるこ と 講演者：末松 誠、楠岡 英雄 座長：位田 隆一			
12:00				ポスター発表時間 (12:10~12:55)
13:00				
14:00	海外招聘者講演1 13:40~14:55 Andrew George Ethical Review in the United Kingdom 座長：武藤 香織			
15:00	海外招聘者講演2 15:05~16:20 Jeremy Sugarman Making Ethical Scientific Progress 座長：吉田 雅幸			ポスター掲示
16:00				
17:00	セッション4 16:30~17:50 臨床研究倫理教育の これから 座長：松井 健志・笹栗 俊之	セッション5 16:30~17:50 拡大版・ 研究倫理支援者懇談会 座長：神里 彩子	セッション6 16:30~17:50 ディオバン事件後の利益相 反への取り組みと対応 座長：飯島 祥彦	
18:00	閉会式 (17:50~18:00)			ポスター撤去時間 (17:30~18:00)

東京医科歯科大学 M&D タワー 案内図



お茶の水門よりスロープを上り、病院には入らずに左奥のガラス張りの建物へお進みください